

令和7年度第6回運営推進会議会議録

グループホームたかしずの森

開催日：令和8年2月18日（水）

時刻：14:00～15:00

場所：新館2階談話室

◎出席者 9名

(事務局) 施設長 介護主任
(職員) 看護師 Y
(利用者代表) 本館代表：T 新館代表：O
(利用者家族代表) 代表：I (欠席)
(地域住民代表) 高清水町内会長 S 民生委員 E
(十和田市東地域包括支援センター) O
(知見を有するもの) グループホーム八甲荘 東一番 N

◎議事録

施設長挨拶：本日はお忙しい中お集りいただきありがとうございます。今日は看護師の山端も出席し、のちほど看護師からみたグループホーム利用者の状況という内容で話をしてもらうことになっております。よろしくお願ひします。

介護主任：資料に沿って「グループホームのサービス提供の状況について」説明する。

入退所の状況を説明、1月下旬に1名特養へ入所がきまり退所しています。2月1日に女性1名入居となっており満床となっております。

男女比率は変わりありません。

外泊状況ですが、まだインフルエンザ感染症が流行っているため外泊の許可は出していません。もう少し落ち着いたら許可をだしたいと思っております。

面会は禁止していませんでしたので、いつもの利用者様ご家族さんが面会にきています。多い方で月2回ほど面会にこられます。大体決まった利用者様家族しか面会にはこられません。正月も同様、遠方からくる方もなくいつもの面会者のみでした。

次にマトリックス表をみていただきますと、年末に2名介護認定の更新がありました。一人は要介護度変わらず1のまま、もう1名は要介護2だった方要介護5となっております。そのほかに1名、家族様から特養入所申込の申し出により区分変更をかけ要介護2から3になった利用者様がいます。

職員状況ですが2月より夜勤専従常勤職員が非常勤へと転換しております。

本館職員は人数が多いですがほぼ非常勤職員で構成されているため、人数が多

くなっております。週1回のパートなど職員に合わせた働き方をしてもらっているため人数は多いですが、余すことなく職員が配置されています。

介護主任：続いて行事の報告ですが、前回I様より写真付きで説明されたほうがわかりやすいとのことでしたので、意見を取り入れ写真付きで行事説明をしたいと思います。1月は餅つき、誕生会、2月は節分豆まきと誕生会をおこなっています。つづきまして、前回の会議でS様よりどんなレクをしているのかについてのお話があったのでレク活動の紹介をしたいと思います。まず、レクの雑誌を買っていてそれを参考にすることもあります。（本を紹介する）

当施設では月に2回利用者全員でやるレクを計画しています。そのレクは計画書等も作成しておこなっています。それとは別に個々に行えるレクとしてパズルや塗り絵、貼り得、数字合わせ等をやっています。

S：筋力低下を防ぐような体を動かすような体操レクはないのですか？

介護主任：一応毎日午前中にラジオ体操は行っていますが、その他の筋力低下のための運動などは今のところ行っていません。

S：できれば個々にそのような運動をする機会を設けられるといいと思います。

介護主任：それは理想ですが、要介護度が高い利用者様が多いとそこまで手が回らないのが現実です。例えば、今日会議に出席しているTさんは自分から歩く練習として毎日廊下を何周も歩いて筋力低下を防いでいます。

施設長：八甲荘さんはどうされていますか？

N：八甲荘も大体同じようなレク活動をしています。曜日でレクを決めて参加したい方だけ参加してもらうようにしています。さらに毎朝簡単に今日はこんなことをしますと利用者へ声がけをしています。

S：それはいいと思います。何時からこんなことがあるというのが利用者さんもわかるというのではないのでしょうか。タイムスケジュールのようなものを貼ったりして。

介護主任：検討します

施設長：続いて山端より看護師からみたグループホーム利用者の状況について話をしてもらいます

Y：高齢者の体調管理、観察についてお話したいと思います

ご高齢の方を看護介護することは教科書的には老年看護の範囲となります。その中でも認知症がある方は関わり方も知識技術も深めなければいけない分野です。

まず、「自覚症状を訴えることが難しい」こと、体調の不調があってもそれをうまく言葉で伝えられない。「痛い」「苦しい」「気持ち悪い」と言えない代わりに落ち着きがなくなったり、食事が減ったり、なんとなく元気がなくなったりこのように様子

の変化として表れることがあります。その様子の変化の背景には発熱や脱水、感染、骨折など隠れていることがあります。ですから特別なことをするでもなく

- ・いつもと顔つき、表情が変わらないか

- ・歩き方はどうか

- ・食事や水分量は変わっていないか

- ・ぼーっとしている時間が増えていないかなどこうしたところを観察することが大事になります。いつもと比べてなんか変かも？という感覚がとても大事になってきます。認知症の方にとって介護者は代弁者となる立場ですから小さな気持ちを共有し利用者さんの体調管理に生かしていただきたいと思います。

E：本当にそれは民生委員としてそう思います。いつも面談にどんな会話をしたらいいのか迷うことがある。こんどからはそういう視点で面談にいきいたい

Y：あとは食事の味がするかどうか？というお話をされるのもいいと思います。だんだんと味覚が鈍くなってきますので。

S：とてもいいことを聞いた。全部まとめられなかったのでは是非あとでこの話をまとめた文書を配ってほしい。

介護主任：了解しました。

施設長：包括から何かありますか？

O：レクの話ですが、自分は昔デイサービスで働いていてレクをやってもらっていたが新しいレクはやはり覚えられず楽しめない方がいたので、かるたとりなど昔ながらのレクはとてもいいと思います。あと看護師さんからの話があったように利用者様の体調管理を連携することがとても大事だと思います。

S：せっかく利用者さんが会議に参加されているので利用者さんから何か意見ないですか？

T：私はもうここにきて何年にもなる。みんな子どもが家から出て行って一人で暮らしていたが娘が心配してここに居れた。みんなに世話になってありがたいと思っている。

昔は大病していつまで生きられるかわからないと言われてたが、ここまで長生きできた。

介護主任：頑張って長生きして100歳まで頑張りましょう！

介護主任：来年度の会議の予定表を前回は配りましたが必要な方に配りたいと思います。

施設長：では本日はこれで会議を終了したいと思います。みなさんお忙しい中参加していただき本当にありがとうございました。来年度も引き続きよろしく申し上げます。